

スタッフのおすすめ新刊本

『16歳の語り部』



かんべなゆた つだほのか あいざわあかね
雁部那由多・津田穂乃果・相澤朱音/語り部
佐藤敏郎/案内役 ポプラ社 Y369.3/ガ

2011年3月11日から5年が過ぎました。
当時小学5年生だった若き高校生の語り部たちがあの日のことを語り始めました。苦しい気持ちを胸に閉じ込めず、つらかった日々のことを語る言葉には力があります。つらい過去を学びに変える彼らの未来への思いをどうぞ感じ取ってください。

『禪を、君に。』 蓮見 恭子/著 光文社 913.6/ハ



全国中学校駅伝大会でチームを優勝に導いた瑞希は走る意味を見失い、高校では陸上をやめてしまっていた。一方、瑞希の走りに憧れて、陸上を始めた歩。そんな二人がここ港ヶ丘高校で出会った。

二人の出会いからどんな化学変化が生まれるのか？
走りに魅せられる二人の葛藤や挫折、そして成長する姿をぜひお読みください！

『王宮のトラと闘技場のトラ』



リン・リード・バンクス/著 杉田七重/訳
さえら書房 Y933.7 /バ

2頭の兄弟のトラは人間に捕まり、ローマに連れてこられた。一頭は皇帝の娘のもとでかわいがられ、もう一頭は闘技場で猛獣や人間と闘う凄惨なトラとして訓練された。ある日、皇女のトラが逃げだした。その責を負わされたトラ使いの奴隷は処刑のため闘技場に送られてしまう。皇女と奴隷の間の秘めた思いの行方は？そして奴隷と兄弟トラの運命は？

YAブックリスト第30号

平成28年7月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台4-6-18

電話：042-378-7111 FAX：042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>



おとな はじまる。

いま、このブックリストを手にしているあなたは、
こどもですか？おとなですか？
いったい何歳からが‘OTONA’だと思いますか？
働き始めたら、成人式を迎えたら、選挙権を得たら、
改正公職選挙法が成立し、満18歳以上が有権者となる
新たな社会を生きる君に、道しるべとなる本を紹介します！

新たな社会で生きる君

『車夫』 いとう みく/著 小峰書店 Y913.6/イ



走もが高校を辞めたのは二年の秋だ。
父親が失しつ踪し、母親にも置き去りにされたので、辞めるしかなかった。仕事を見つけなくては！車夫の世界に飛び込んで人力車を引くようになったのは、部活の先輩に誘われたからだ。走るのは気持ちいい！ある日突然、大人にならざるをえなかった少年と彼に出会った人々とのさわやかな物語。

同シリーズの Sunnyside Books から
『メディチ家の紋章 上・下』
テリーザ・プレスリン/著
金原瑞人・秋川美子/訳 小峰書店 Y933.7/ブ
ルネサンス期を生きた若者の話。

『王への手紙 上・下』
トンケ・ドラフト/著
西村由美/訳 岩波書店 Y949.3/ド
16歳の少年騎士の成長物語。

働くことの意味

『君たちはどう働くか』

今野晴貴/著 皓星社 Y366/コ

働くって聞いてどんなことを思い浮かべますか？
辛い？義務？まだ働くことが現実的でない中学生に、
労働法についてや雇用のあり方についてなどわかりや
すく社会とのかかわり方を教えてくれる。
自分にとって何が正しいのか問い続ける批判的考えを
持つことの大切さを教えてくれる。



ほかには…

『14歳からの仕事道』

玄田有史/著 理論社 Y366.2/ゲ

『中学生からの就活 自分で考える109の話』

竹中俊雄/著 文芸社 Y366/タ

など。

人生について、日々の出来事

『人生の答えは家庭科に聞け！』

堀内かおる 南野忠晴/著
岩波書店 Y590/ホ

NHK 高校講座『家庭総合』の「おなやみ相談」をも
とに、人生の様々な場面で直面する悩みや問題を漫
画でわかりやすく取り上げ、家庭科のプロが解決法
を探ります。



『12歳からのマナー集』

多湖輝/著 新講社 Y385.9/タ

マナーとは、自分を大切にすること

『家を出る日のために』

辰巳渚/著 理論社 Y590/タ

家を出る日を夢見てみよう

『クマのプーさん エチケット・ブック』

A. A. ミルン/原案 E. H. シェパード/絵

筑摩書房 Y385.9/ミ

プーさん独特のマナー本

その道を目指して進んでみよう！

『18きっぷ』

朝日新聞社/著 朝日新聞社 748/ア

さまざまな18歳が「どんな大人になりたいか」について
夢や決意を語る。
希望に溢れたまぶしい写真と彼らの言葉に胸が熱くなる。
朝井リョウさんの前書きもうれしい。

目指すビジョンが決まったら…さてどうするか。

自分のやりたいことを見つめて、その道を目指して進んでみよう！

この社会にはさまざまな仕事があります。

自分の道を切り開いた先人たちの本を紹介します。



『マンガがあるじゃないか わたしをつかったこの一冊』

河出書房新社/編

河出書房新社 Y726.1/カ

たかがマンガというなかれ！
そこには人生がつまっている。
小説家、評論家など著名人29名が
“私をつかったこの一冊”と
お勧めするマンガのガイド本。

『法むる一む』

高校生からの法律相談』

法むる一むネット/編集・執筆
清水書院 Y320/ホ



日常の様々な出来事がどんな法律
に関わってくるのか解説されてい
る。巻末の資料を参照すると
よりわかりやすい。

女子高生の目線で選挙を考えた



『東京ガールズ選挙(エレクション)』

こじらせ系女子校生が生徒会長を目指したら』

長嶺超輝/著 ユーキャン学び出版 Y913.6/ナ

校庭の樹齢300年のイチヨウがいつみの居場所。その樹を切ると
宣言する生徒会長の芽。亡霊の徳川家基が現れいつみに「選挙コ
ンサルタントになるから生徒会長に立候補せよ」と云う。

はてさて、その顛末は・・・

『18歳からのキャリアプランニング』

これからの人生をどう企画するのか』

大久保功/著 北大路書房 Y336.4/オ

『ローカル仕事図鑑 新天地のハローワーク』

技術評論社 Y366.2/デ

『ブレイクスルー 中2から働き、8年後には司法書士』

正村邦之/著 現代書館 289.1/シ